

2017 年度事業報告

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会

I. 2017 年度事業活動の概要

① 授賞式

2017 年度（第 7 期）事業年度は、冒頭 4 月の授賞者発表に続き、5 月 24 日に第 5 回授賞式をフランス大使館公邸にて挙行し、授賞式前に記者会見を行いました。

② 論文募集告知活動

また財団活動紹介及び募集告知を更に強化し、募集案内を大学医学部 81 ヲ所、大学医学部呼吸器科等 502 ヲ所、がんセンター 20 ヲ所、がんセンター呼吸器他 112 ヲ所、がん拠点病院 325 ヲ所、疫学他 19 ヲ所の合計 1,059 ヲ所に送付しました。

③ 論文応募状況及び審査過程

7 月～9 月の募集期間を経て、10 月から一次選考、年明けから二次選考を行い、3 月下旬に第 6 回受賞者を決定しました。2017 年度の応募総数は 19 件と昨年の 16 件を上回り昨年度と同様に共同執筆者からの応募が見受けられました。

④ 一般告知活動

事業の一環並びに告知活動として、10 月に横浜で開催された日本肺癌学会にブース展示を行い、財団並びに事業内容について積極的に活動を行いました。募集告知活動については、今後も同様の活動を継続し、財団の認知度の向上を図るとともに、より一層財団の公益性を伝えることにより癌撲滅へ向けての研究の発展に貢献していく予定です。

⑤ エクスプロラシオン・ジャポン（Exploration Japon）への助成

駐日フランス大使館が主催するフランス人の自然科学分野研究者の渡日プログラム（旅費援助）に対して、癌分野のフランス人研究者の旅費の補助（2 名分）を行いました。

⑥ 内閣府立ち入り検査

2017 年 12 月には、公益財団法人に移行して初めて内閣府による立ち入り検査が行われました。財団側からの事業活動全体の説明に始まり、当財団の理事会や評議員会等の開催状況を中心としたガバナンス、さらには会計帳簿に基づく経理処理の適切性について質疑応答を行いながら進められました。検査を終えるに当たっての講評では文書による指摘事項や改善事項はなかったものの、会計処理規程、公用印章取扱い規程の制定とそれに基づく適切な会計処理、公用印章の運用が求められました。さらに、飲食費に関わる経費については、公益財団の性格上、原則として認められないので、今後配慮するよう求められました。（今後 3 年に一度、

同様の立ち入り検査が行われる予定)

⑦ 代表理事の交代

2017年9月4日をもって、角田昌彦氏が代表理事を退き、新たに福井康裕氏が代表理事に就任しました。角田昌彦氏は2017年11月2日をもって名誉理事長に就任しました。

⑧ 事務所の移転

かねてよりの懸案であった登記上の主たる事務所を移転し、「中央区京橋一丁目3番2号モリイビル906号室」としました。その後、より安価な家賃で現状よりも3倍程度広い物件ということで、2018年1月に「渋谷区代官山1番6号 広田代官山ビル 2階」に移転し、事務所所在地の移転登記も完了しました。

II. 当初活動計画

2017年4月中旬	2016年度(第5回)顕彰論文受賞者発表
2017年5月24日	2016年度(第5回)顕彰論文授賞式(駐日フランス大使公邸にて)
2017年6月	2017年度(第6回)顕彰論文広告掲載開始
2017年7月	2017年度(第6回)顕彰論文募集開始
2017年9月末	2017年度(第6回)顕彰論文募集締切
2017年10月	第58回日本肺癌学会 ブース展示
2017年12月末	第一次選考実施とその結果報告 ※フランス人委員は1名の追加選考を検討
2018年1月~2月	第二次選考
2018年3月初旬	第二次選考結果確定
2018年3月中旬	理事会にて最終決定(2018年5月 授賞式予定)

III. 募集告知活動

6月	ホームページに募集告知掲載
6月	UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)及び関連学会HP・発行誌への募集告知掲載など(UMIN/日本肺癌学会/日本呼吸器学会/日本呼吸器外科学会、日本呼吸器内視鏡学会/日本疫学学会/日本人工臓器学会/日仏医学会)
6月末	ダイレクトメール送付
7月~9月	募集期間
9月30日	応募締切 応募件数19篇 (2012年16篇、2013年8篇、2014年18篇、2015年25篇、2016年16篇)

IV. 課題と対策

2017年度の応募は19篇と件数としては前年度を上回り、過去2番目の応募数となりました。また、ホームページリニューアルの一環として、英文ホームページ、仏文ホームページを日本語ホームページに対応する形で構築し、国際的な情報発信もできる体制を整えました。今後は3か国語にわたるHPのメンテナンスをきちんと行うことが求められます。また、HP上からの論文応募システムについて見直しをする予定です。

また、よりきめ細かい募集告知活動により財団の認知度向上を図るとともに、若者に対する禁煙に関する啓蒙活動(講演会)なども行っていく計画であります。

V. 選考活動【第6回 2017年度】

10月 第1次選考開始

12月末 第1次選考通過者5名確定(第2次選考へ)

1月初旬 第2次選考開始

3月14日 第2次選考確定

3月20日 理事会にて最終決定

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」顕彰金 350万円 田淵 貴大氏

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞 特別賞」 顕彰金 150万円 久保田 晋平氏
高橋 恵生氏

4月13日 HPにて結果発表

VI. 財団活動(会議等)

第12回評議員会 2017年6月24日

第13回評議員会 2017年11月21日 (みなし決議にて)

第14回評議員会 2017年12月1日 (みなし決議にて)

第15回評議員会 2018年1月15日 (みなし決議にて)

第22回理事会 2017年5月29日

第23回理事会 2017年7月9日 (みなし決議にて)

第24回理事会 2017年8月28日 (みなし決議にて)

第25回理事会 2017年11月2日

第26回理事会 2017年11月24日 (みなし決議にて)

第27回理事会 2018年1月15日 (みなし決議にて)

第28回理事会 2018年1月29日 (みなし決議にて)

第29回理事会 2018年3月20日

以上

平成29年度事業報告附属明細書

平成29年度事業報告の附属明細書は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条に規定する事項は存在しない。

公益財団法人 後藤喜代子・ポールブルダリ癌基金協会